

ヤギ除草の試行（第1回）の結果報告



きいめえさん

きいめえさん通信
第4号

これまで「きいめえさん通信」第1～3号にてお知らせしてきた「ヤギ除草」について、皆様のご理解・ご協力により、無事試行を終えることができました。ありがとうございました。

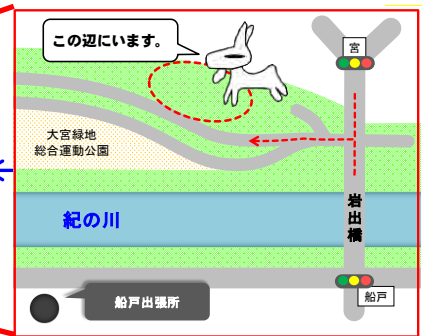
今回の試行の結果について、とりまとめたものをご報告します。

【ヤギ除草の試行（第1回）の概要】

- (1) 試行期間：平成28年4月17日～6月20日（H28年度除草の1回刈りに該当します。）
- (2) 試行場所：紀の川右岸 16.2-16.4km 付近（岩出橋下流右岸側）
- (3) 試行範囲：約1000m²（延長70m×法長15m）
- (4) ヤギ頭数：4頭（途中入れ替えはあったが、基本的には4頭で除草）



試行の位置図



【ヤギ除草の目的】

- (1) 「堤防除草」 河川堤防は、堤防点検のため、年2回の除草が必要である。これをヤギに除草してもらう。
- (2) 「環境保全」 ヤギ除草では刈草が発生せず、廃棄物が減る。機械の燃料が不要である。
- (3) 「コスト縮減」 除草経費の多くを占める刈草処分費用が不要になる。
- (4) その他 ヤギ除草の情報を発信することで、除草作業についてより多くの方に知っていただくことができる。

【ヤギ除草の効果と課題】

(1) 「堤防除草」の効果と課題

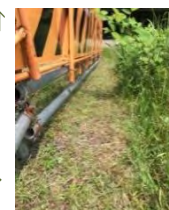
- ① 試行期間2ヶ月で、試行範囲1000m²の草をまんべんなく除草した。
- ② 想定よりも早く試行範囲内の草を一通り食べてしまった。
(期間内に追加のフェンスが用意出来ず、試行範囲を拡大できなかったため、途中で小型のヤギと交代した。)



柵の外の草 ↑ を食べるヤギ

(2) 「環境保全」の効果

- ① 当初の想定通り、ヤギが草を食べたため、処分すべき刈草は発生しなかった。
- ② ファンが少し発生したものの、廃棄物として問題になる量ではなかった。



柵の外の草を食べた跡 →

(現場の写真)



4月：ヤギ除草前



6月：ヤギ除草後



6月：柵の外は草が繁茂



(3)「コスト縮減」の効果と課題

①除草にかかる費用は、

「機械除草+刈草の有料処分」の場合：約13万円/1000m²、

「ヤギ除草」の場合：約8万円/4匹だった。

②一方で、監視カメラとその電源に、約30万円を要した。

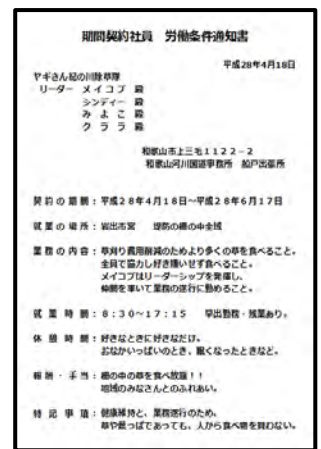
(4) その他の効果と課題

①PR効果

- ・「きいめえさん通信」による情報発信の結果、チラシの持ち帰り、HP閲覧をしていただいた。
- ・ラジオでの紹介、近隣学校からの見学希望があった他、散歩中の方に見ていただいた。

②課題

- ・目的の周知が足りなかったのか、通りがかった方によるヤギへのエサやりが見られた。
- エサやりは、病気や虫歯の原因になり、除草もしなくなるため、看板を設置した。(図参照)



図「労働条件通知書」



【ヤギ除草の試行(第1回)のまとめ】

- (1) 堤防除草、環境保全について、一定の効果が見られた。ヤギによる堤防除草は十分可能であることがわかった。
- (2) ヤギの堤防を除草する能力が1000m²/2ヶ月・4頭よりもかなり大きいことがわかった。
ヤギ4匹のままで、面積を1000m²よりも拡大できそうなことがわかった。
- (3) 監視カメラのコストを縮減出来れば、刈草の有料処分の場合と比べて安価に実施できそうなことがわかった。
- (4) ヤギのチラシを見ていただくことで、流域の方に堤防の除草に興味・関心を持っていただいた。

【第2回の試行に向けて】

- (1) 面積を拡大する。(ヤギによる堤防除草能力を確認する。)
- (2) 継続実施を検討する。(面積を拡大した上で、ヤギ除草を継続した場合の弊害がないか確認する。)
- (3) 監視カメラのコストを縮減する。(最低限の防犯対策は継続する。)